

2023年度前期 授業・教育方法の改善計画書

質問	学生	教員	回答
1.シラバスや最初の講義等で、授業の目的や目標がどのような内容かを充分に説明した。	4.30	4.65	オリエンテーション時、最初の講義で説明した。また、15回目でも振り返りを書く段階でも説明をした。シラバスをプリントアウトして初回の講義に配布し説明している。どの授業でも、初回の授業でシラバスを確認するが、初回の授業に出席していない学生は、シラバスを見えていないことも多く、内容を伝えるのは困難。自分1人で担当する授業については、1回目の授業でシラバスの内容を必ず説明している。
2.学生の理解度を確認しながら、適切な早さで授業を進められた。	4.24	4.00	統計学Ⅱなど資格に関する科目は、シラバスに沿った進度で進み内容を網羅する必要があるため、遅いと思っている。質問時間や講義外の学習やグループワークでの質問など遅れが出ないように尽力した。ただ、あきらめる学生もわずかにみられた。下位の学生が理解できていないかもしれないながらも、授業の設定目標のレベルをこなすためにはある程度のスピードを持って進めなければならず、できるだけGoogle Classroomを利用してフォローしつつありますが、学生には届いていないようでした。振り返りシートを確認しながら授業を実施した。1年対象の講義においては、科目への興味と学びの喜びを高める取り組みを検討中である。学生の理解度など、状況に応じてシラバスよりも進度を早めたり遅くしたりした。ふりかえりレポートで学生の理解度をチェックしたり、授業中に質問がないかその都度聞いているが、人数が多い授業ではまだ不十分かあると思われる。
3.学生の理解を促すため、分かりやすい表現で、聞き取りやすくしっかりとした口調で話した。	4.33	4.26	わかるまで何度も繰り返す。広い教室ならばマイクを十分に用いる。わかりやすくはっきりと話すようにしていきたい。現在、理論科目は教科書1冊を全部熟読理解する形の講義を行っているが、実践を兼ねて理解する方法を今後試みようとしている。留学生もいる授業が多いので、できるだけ簡単な日本語で説明し、英語による説明も取り入れた。一方で、英語の教職課程をとっている学生もいるので、必要に応じて専門用語を用いた。
4.黒板やホワイトボードの（オンラインの場合は画面に表示された）文字や資料、やパワーポイント等の内容は、学生が分かりやすいよう工夫をした。	4.24	4.26	ホワイトボード、教科書、パワーポイント、動画、インターネット記事など工夫を凝らしたが、見にくいものもあった。毎授業パワーポイント資料をB4サイズで印刷し配布した。講義をわかりやすく理解した上、復習ができる学習法を取り入れていたが、まだ改善の余地はあると考えている。フォントや文字サイズ、背景色と文字色のバランスに配慮した。必要に応じて読み仮名をふった。
5.授業は予定時刻通りに始まり、予定時刻通りに終わらせた。十分な授業時間を確保できた。	4.39	4.52	資料のコピーが詰まったりして、遅れることもあった。連続する授業もあり、学生の質問に対応したことや移動に時間がかかることもあった。ほぼ時間通りに実施した。授業の最後を課題にして、終了した学生から返ささせる形態も含んだ。これまでは授業の最後書いてもらふりかえりレポートの記入時間が学生によっては時間オーバーしてしまう場合があったため、今学期は簡略化し、記入時間も確保するように努めた。
6.快適な授業を行うため、学生の遅刻や私語、その他不測の事態に対応し授業の適切な運営維持に努めた。	4.31	4.39	参加しない学生は発表させるなど、工夫をしたが、まだ工夫が足りないと思う。必要に応じた対応を実施した。特に受講人数が多い授業では机間指導を行うようにした。また、90分座ったままにならないような活動を取り入れた。
7.学生に対し分からないことを質問する機会（チャンス）を設け、適切に対応できた。	4.31	4.48	質問時間を設けることや声掛けを積極的におこなった。グループワークでの添削指導。学生の研究室への訪問など、すべて誠実に十分に対応できたと思っている。大雨などの影響で急ぎオンデマンド配信になった授業が試験まで間隔がなかったこともあり、質問の機会が十分に設けられなかった。その点は次学期以降の反省点とした。授業の最初に質問等無いか確認した。毎回、講義時間中に質問タイムを設けたり、クラスルームや研究室訪問を通して質問を行うように告知している。毎回の授業も振り返りや提出させ、質問がある場合も記入してもらった。また、授業の最後は教室に残残り、個別の質問に対応した。授業外学習中にも質問も受け入れた。質問は授業中やgoogle classroom、研究室への訪問により受け付けることを学生に周知しているが、google classroomの質問に気づけないことがあった。
8.学生が授業の内容を自分で調べることができるよう、シラバスや授業内で十分に指導できた。	3.81	4.13	日本文化論で反転授業をおこなっており、教科書を読み、関連事項をインターネットや書籍、論文で調べる機会を毎回設けた。半分程度の学生は、検索能力や複数の資料を用い、総合的に考える力が身についたと思う。調べた作業を取り込むよう工夫をしたがまだ十分ではないという結果であった。レポートを事前学習用のキーワードを調べるかたちにしていて、この課題を確認する機会をどう設けるかを検討している。科目によっては、調べなければ取り組めないような課題を採用することもできたが、そうでない科目も多かった。シラバスや授業中に参考資料などを提示していたが、数字が低いので、学習課題などの工夫をしていきたい。
9.学生に対し授業外学習（予習復習・課題など）の必要性や内容について充分に説明した。	4.16	4.52	十分な説明をあらゆる場面で繰り返すので、課題をやらない学生が減ってきた。ただ、どうしてもやらない学生がいる。励ましたり、危機感を与えたり、ほめたりしても変わらない学生もいる。Google Classroomを活用して、授業後に授業資料および文献資料をアップさせ予習・復習がしやすいように工夫した。授業の最初と最後で、授業の進捗をテキストで説明し、予習復習の範囲を示した。回答からは、授業外学習の実行や成果についての回答が好ましい水準ではないため、効果的取り組みを検討したい。
10.シラバスや講義等で定めた到達目標を意識した授業運営ができた。	4.27	4.26	目標を毎回意識し、講義内でもできる限り目標にふれることに努めた。当初の目標に沿って授業を実施できた。毎回、シラバスの到達程度や各回の目標をクラスルームを通して事前にお知らせし、講義の始まりにも説明したうえ、講義内容を説明している。学生全員が目標に到達できるわけではないが、授業運営においては常に意識していた。
11.全体として、満足のいく充分な授業運営をすることができた。	4.31	3.96	資格に関する科目に関するモチベーションを高めることがまだまだ不十分だった。非右方について悩んでいる。新カリになり、新たな目標に到達できるよう試行錯誤しましたが、時間的に十分な余裕がなくまだまだ改善すべき点がたくさんあります。学生の理解度とシラバスの到達目標どちらもうまくバランスをとりながら進めていけるよう授業運営を見直したいです。通常授業中心でようやく講義を実施することができた良かったです。ただ、まだ改善できる余地は大いにあるので、今回のアンケート結果を今後に生かしたい。多様な課題を抱える学生がいる中で、人数の多い授業で配慮が行き届かないことがあった。
12.対面授業における教室の広さや室温は、学生が学びやすいように配慮した。	4.40	4.17	西山ホールなど教室が広いが細かいところまで目が届かない印象を持っている。B302は情報としての座席数と実際に教室にある机とすのこ座席が違っています。必要に応じて温度調整や換気を行った。たまにエアコンの効きが悪いときがあったが、授業中に学生にも体温感知度を尋ねながら調整できるように配慮した。座席の場所により温度差があるため空調の温度調節が難しい。
13.遠隔授業における課題・資料等の配信や返答の受け取りは円滑に行うことができた。	4.36	4.18	グループワークの活用は留学生もできており、指導がスムーズおこなえるようになってきた。遠隔授業をしていない。Google Classroomを活用して、授業以外にも個別の質問にも対応できるようにした。過不足なくスムーズにやり取りすることができた。特に1年生の授業では、初回の授業で実際に教室でClassroomを使いながら説明することで、問題なく進めることができた。資料の配信はある程度できたが、学生の質問や課題の返却がスムーズにできなかった。
14.学生からハラスメントがあった旨の回答があった場合、その気付きや対応を記入してください。			
15.進学や就職、学生の人生設計・キャリアプランニング等、将来に役立つ内容について授業で意識したことがあれば記入してください。			各科目それぞれで学ぶ内容に関して社会に出てからの意義をできる会議説明してきた。私の授業はどの授業もキャリア形成のためのものである。モノの見方、捉え方や思考の方法についても触れ、学生のコメントでもそうした表現が出ている。外部からゲスト講師として来ていただく機会をどの授業でも持った。次学期以降も継続したい。国家資格に関する最新情報を常に授業内でも紹介するようにつとめた。授業内容に関連して卒業生が学生時代をどのように過ごしたのか、卒業後、どのような職業に就いたのか話をした。国家試験に関連する科目については、試験の動向についても講義内でふれるようにした。大人数の講義や体調不良への学生が円満に講義を受ける取り組みにおいて、現在は当該学生の面談後に対応しているが、より効果的な取り組みを試みたい。3年・4年のゼミの中で、就職活動に関する情報を提供したり、活動状況の確認・共有をおこなっている。また、授業で学ぶ内容と社会との関連について意識してもらえよう心がけている。
16.大学の施設設備や授業で使用する機器について気付いたことがあれば記入してください。			各教室に、せめてA301とA401に備え付け固定のプロジェクターをお願いします。 そしてできることなら、いや、ぜひ、触れるだけで出席がとれるシステムの導入をお願いします。出欠の作業にとても時間がかかります。経済政策は学生数が増えてきたので、教室の大きさが問題となりつつある。自身のPCとロッカーに入っているEPSONのプロジェクターの相性が悪いのか、映写できないことがあった。（ロッカーに入っているPCだと映写できる）その点可能であれば改善していただければと思う。教務のみならずも忙しいとは思いますが、定期的にマイクやその他の機器の点検をしていただけたら助かります。各教室に電子黒板等が欲しいです。HDMIでつながるテレビが備え付けられている教室が少なすぎます。教務課貸し出しのプロジェクターは、セッティングだけでだいぶ時間がかかります。ボードペンのインクがない場合が多かった。ICTスキルを活かす講義室を増やしてほしい。A301教室は、プロジェクター使用時にカーテンを開けて前方の明かりを消す等していたが、十分ではないことがあった様子。授業評価アンケートにもあったが、ホワイトボードマーカーが薄いものが多かった。
17.大学の施設設備や授業で使用する機器について気付いたことがあれば記入してください。			各教室に、せめてA301とA401に備え付け固定のプロジェクターをお願いします。 そしてできることなら、いや、ぜひ、触れるだけで出席がとれるシステムの導入をお願いします。出欠の作業にとても時間がかかります。経済政策は学生数が増えてきたので、教室の大きさが問題となりつつある。自身のPCとロッカーに入っているEPSONのプロジェクターの相性が悪いのか、映写できないことがあった。（ロッカーに入っているPCだと映写できる）その点可能であれば改善していただければと思う。教務のみならずも忙しいとは思いますが、定期的にマイクやその他の機器の点検をしていただけたら助かります。各教室に電子黒板等が欲しいです。HDMIでつながるテレビが備え付けられている教室が少なすぎます。教務課貸し出しのプロジェクターは、セッティングだけでだいぶ時間がかかります。ボードペンのインクがない場合が多かった。ICTスキルを活かす講義室を増やしてほしい。A302教室は、プロジェクター使用時にカーテンを開けて前方の明かりを消す等していたが、十分ではないことがあった様子。授業評価アンケートにもあったが、ホワイトボードマーカーが薄いものが多かった。
18.遠隔授業をどのように行ったか、また改善すべきことがあれば記入してください。			課題をおこない、対面時にディスカッションするという反転授業の形式が、基礎演習やいくつかの講義科目でうまくいくようになってきた。他の先生もワークショップ型、双方向型を取り入れ、遠隔授業による事前事後学習に学生が慣れてきたように見える。遠隔授業は行っていません。遠隔授業をしていない。悪天候での対面授業中止を受けて遠隔授業を行った。予定していた教材をアップし、10日間の期間内に課題を完了するようにした。遠隔授業はオンデマンドの配信を中心にを行った。適当に動画を見て課題を提出する学生（授業内容とは異なる回答をする学生）も一定数おり、そのような学生に対しての対応を考えていきたい。遠隔授業の内容が対面授業の内容とズレてしまったことがあった。また視聴時間の長い動画を複数作成できるように工夫したい。（長時間の動画は複数に分けるなど）グループワークを通じて課題学習を実施した。教員の講義をいつでも見られるための取り組み、例えば、大学のミニ編集・放送局の設置は一層必要と思われる。教科書に準拠しているe-learning教材を取り入れ、授業外での学習時間を確保することができた。動画の視聴やリスニングなどを行えたこともよかった。課題の配信と提出のためにgoogle classroomを利用した。また、卒論の個別指導でziumやLINEを利用した。改善点としては提出された課題の採点を早めに行うようにしたい。